

平成14年6月24日

有機性資源循環利用アジアネットワーク (ANOR) 設立総会 議事録

1. 開催日時：2002年6月24日(月) 8:45～9:30
2. 開催場所：全共連ビルディング1F 第5会議室
3. 出席団体及び代表者：

South East Office, Resource NSW, New South Wales, Australia  
Representative: Manager, Mr. Gerry Gillespie

Institute for Natural Resources and Environmental Management,  
Hong Kong Baptist University, Hong Kong  
Representative: Director, Dr. Ming H Wong

Center for Research for Engineering Application in Tropical Agriculture,  
Bogor Agricultural University, Indonesia  
Representative: Head, Dr. Kamaruddin Abdullah

Japan Organics Recycling Association, Japan  
Representative: Director, Dr. Mitsuo Chino

Korea Organic Waste Recycling Council, Korea  
Representative: President, Dr. Ki Woon Chang

Department of Environmental Sciences, Universiti Putra Malaysia, Malaysia  
Representative: Researcher, Mr. Theng Lee Chong

Centre for Applied Science International Development,  
Auckland University of Technology, New Zealand  
Representative: Adjunct Lecturer, Mr. Richard Tong

Environmentally Biodegradable Polymer Association of Taiwan, Chinese Taipei  
Representative: Chairman, Dr. Chien Ming Huang

Department of Land Development, Ministry of Agriculture and Cooperatives,  
Thailand  
Representative: Chief, Dr. Pitayakon Limtong

欠席 College of Environmental and Resource Sciences, Zhejiang University, China  
Representative: Professor, Dr. Jianming Xu

オブザーバー Dr. Long Choi(韓国), Mr. Esmay Huang(台湾),  
Mr. K. C. Cheung(香港),  
但野利秋(JORA), 間處威俊(JORA)

事務局 竹下英一(JORA)、丸山義弘(JORA)、山崎一博(JORA)

#### 4 . 議事内容

JORA 代表の茅野充男氏が議長として会議を進めることが承認され、会議が始められた。  
JORA 但野副会長より、歓迎の意が表明された。

##### 1 ) ANOR 規約の合意

ANOR の規約案 ( 資料 No.3 ) が議長より提案され、異議なく全会一致で提案どおり承認された。

##### 2 ) ANOR 参加の表明

出席者を各団体の代表として、それぞれの所属組織が ANOR に参加することの表明がなされた。

中国の Xu 氏からは、College of Environmental and Resource Sciences, Zhejiang University が ANOR メンバーとして参加することについて、メールにて意思の表明が来ていることについて事務局より報告があった。

以上の結果、今回の参加団体と中国の College of Environmental and Resource Sciences, Zhejiang University を ANOR 設立メンバーとして、ANOR が設立されたことが宣言された。

##### 3 ) 運営委員会委員の選任

資料 No. 4 にて提案された運営委員会委員の候補者について討議され、全員一致で了承された。

また、選任された Kamaruddin 運営委員会委員より、運営委員長として茅野充男氏、副委員長として Xu 氏とすることが提案され、運営委員全員に承認された。

次いで、ANOR の規約に従い、茅野運営委員長が議長として、ANOR 総会を進めることとなった。

なお、茅野議長に代わり但野氏が、JORA 代表として総会に参加することについて議長より提案され、承認された。

また、ANOR 規約に従い、運営委員長の所属団体である JORA が、今後 2 年間、次回の総会の前日まで ANOR 事務局業務を担当することとなった。

##### 4 ) ANOR 活動計画

ANOR 規約 6 条に基づく ANOR としての当面の活動案については、下記の内容とすることが事務局より提案された。

###### メンバーの募集

各地域の有機性廃棄物リサイクルの状況に関する情報の交換

参加団体のホームページのリンク

ANOR のホームページの公開

各地域の有機性廃棄物の排出量についてのデータの収集

以上の活動内容について、特に異議なく承認された。

また、連絡は主にメールにて行っていくことから、各団体窓口は、できるだけ良好なレスポンスに努めることが合意された。

5 ) ANOR ロゴの件

オーストラリアの Gillespie 氏より、ANOR ロゴ案及びロゴの考案者について説明があった。ANOR ロゴ案の考案者はオーストラリア、Canberra 在住のグラフィックデザイナー、Ms. Carolyn Brooks で環境に関するテーマに力を入れて 1969 年よりデザイン活動を行っていることが報告された。討議の結果、ANOR ロゴとして採用することが全員一致で決定された。

6 ) ANOR 設立調印式

資料 No.7 の LETTER OF INTENT にそれぞれ代表者の署名が行われた。

6 ) その他

ANOR のホームページ案が JORA ホームページ内に作成されており、本日より一般に公開することについて事務局より提案され、全員一致で承認された。  
ANOR ホームページアドレス URL <http://www.jora.jp/anor/>

以上